

令和6年度 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業

清川村教育委員会

清川村における“研究テーマ”と“4つの柱”

幼・小・中の12年間を見通した確かな学力と豊かな心の育成
～輝き・愛着・誇りを持って未来を支える「清川っ子」の育成を目指して～

幼・小・中
で連携した発達
段階に応じた指導

学校と家庭・
地域が連携した生活習慣の
確立による確
かな学力と豊
かな心の育成

学校にお
ける指導
方法の工
夫と改善

生きる力
を育むた
めのICTの
活用

主な取組

- ◇各校での研修会の実施（授業研究・工夫ある研究協議）
講師招聘各校1～3回実施
- ◇きよかわ学びづくり推進連絡協議会の開催（年6回）
研究報告、学力・指導力向上に向けた施策の協議等
- ◇「きよかわ学びづくりハンドブック」を活用した学習環境の整備
- ◇家庭・地域との連携
「きよかわまなび通信」を年3回発行し、幼稚園、各小・中学校
の取り組み等を紹介
- ◇12年間の系統性を意識した学校間交流の実施
異校種間における授業交流・参観・研究協議へ参加



緑中学校

「課題解決学習における個別最適な学びの実践」



数学科の二次関数の単元では、バスケットボールのシュートの軌跡を関数に見立てて学習を行った。今までの学習を生かしながら個々で取り組み、さらに仲間との対話を通して、考えを深めることができた。

【研究の講師】
飯窪 真也 先生
(教育環境デザイン
研究所 主任研究員)

宮ヶ瀬中学校

「新しい時代に生きる力の育成」



学年を越えた英語科での協働学習を通して、他者に伝える表現の工夫、根拠や理由を伴う意見の表出、聞き手を引きつけるプレゼンの工夫など育成を目指した授業を行い、研究協議を行った。

【研究の講師】
梅澤 秋久 先生
(横浜国立大学 教授)

緑小学校

「自立・協働・創造」
～清川村から羽ばたく児童の育成～



自分の気持ちを考え、他者に伝えるといった力や課題解決能力の向上を目指している。特に相手や場面に応じて物事を考え、適切に話したことをもとに行動に移す力の向上を目指し、取り組みを進めた。

【研究の講師】
大村 龍太郎 先生
(東京学芸大学
准教授)

《今年度の成果》

- 園・各校において、課題を解決するための研究を深めることができた。
- ICT活用の幅が広がり、授業での活用頻度が増えた。
- 幼・小・中の交流活動が増え、先生方がそれぞれの子どもたちの活動を実際に見合うことができた。